

ニューヨークから来日! From NYC!!

60年代ブルーノート・ジャズ・プロジェクト

DAVID AMBROSIO CIVIL DISOBEDIENCE

自由と正義を奏でた“プロテスト・ジャズ”が、現代に甦る。

Protest Jazz of the Late '60s Blue Note Era — Freedom. Justice. Reimagined.

自由と正義へのメッセージを、
今ふたたび音楽にのせて。



グラミー賞受賞ベーシスト/
プロデューサー、デビッド・アンブrosio率いる
プロジェクト「シヴィル・ディソビディエンス」
の中心人物。

ブルーノートの名盤を現代に甦らせる、
抗い、再構築し、未来へつなぐ
プロテスト・ジャズ。



園 恵太郎 (サクソ)
Sono Keitaro (sax)



ウィラード・ダイソン (ドラムス)
Willard Dyson (drums)

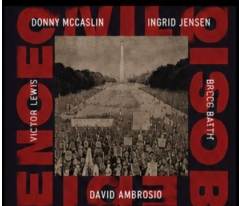


デビッド・アンブrosio (ベース)
David Ambrosio (bass)



加納 新吾 (ピアノ)
Kano Shingo (piano)

最新アルバム「CIVIL DISOBEDIENCE」
New Album "Civil Disobedience"



ブルーノート黄金期のプロテスト精神を受け継ぎ、
現代に甦らせた話題作。力強く、美しく、そして今生きる音楽。

- ブルーノートの名盤を再解釈し、現代に蘇らせる意欲作
- プロテストと自由のメッセージを込めたスピリチュアルなサウンド
- 時代を超えて響く、普遍のジャズ



鴨川のほとりに佇む、京都を代表する老舗ライブハウス。
ジャズを中心に、上質な音楽と心地よい時間をお届けします。

ライブ・スポット RAG

2026
9.15 [火]
(TUE)

京都市中京区
木屋町通三条上ル大阪町521
エンバイヤビル5F

🕒 開場 18:00

開演 19:00

🎫 ミュージックチャージ
4,000円

(別途2オーダーチケット1,500円)

海外メディア絶賛! PRESS QUOTES

“このアルバムは2026年ベストの一つになるはずだ。”

“This album has to be considered
as one of the best of 2026.”

— Mike Greenblatt, The Aquarian

“プログレッシブ・シックスティーズへのトリビュートであり、
音楽へのラブレターでもある。”

“A tribute to the Progressive Sixties
and a reclamation, a love letter to the music.”

— Mark Corroto, All About Jazz

“アメリカの市民権運動の歴史を語る
アンセム的な楽曲のコレクション。”

“An album of anthemic songs speaking
to the history of spirited civil rights activism.”

— AD Amorosi, Jazz Times

“デビッド・アンブrosio最新作「シヴィル・
ディソビディエンス」。これらの曲は多様な
メロディの道筋を描くが、すべてスウィングに
導かれている。”

“There's something life affirming about
David Ambrosio's latest project [Civil Disobedience].
These underplayed songs boast divergent melodic paths,
but are all driven by swing.”

— Andy Cowan, MOJO Magazine UK

プロジェクトの背景・音楽を詳しく



最新情報・試聴・
インタビューなどは
公式サイトへ!

Visit the official site
for more info, music,
and interviews!

1960年代、ブルーノートは“音楽で声を上げた”。
その精神が、今ここに——。

In the 1960s, Blue Note raised its voice through music.

That spirit lives on—here, right now.